

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 53 (年4回発行)

- 発行日 平成21年6月30日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会広報部会  
三春町字大町178 (旧公民館内)  
TEL/FAX (62) 3988

## 出前懇談会速報

### 2009年春「三春の観光」を振り返って

三春まちづくり協会では平成20年4月から毎月「出前懇談会」を開催しています。第15回は、6月10日午後7時から三春交流館まほら会議室で開催されました。テーマは「2009年春・三春の観光を振り返って」。町役場からは産業課長をはじめ3名の方に出席をいただき、約30名の町民が参加しました。

最初に役場から今年の観光の概要について「滝桜観光」「街なか観光」「イベント」の3点について説明がありました。

#### 1. 滝桜観光

##### ①対応期間

4月11日～26日 (16日間)

##### ②滝桜の観光客数

推定人数：324,192人 (昨年度：295,337人)  
滝桜協力金の収受額：21,205千円  
(昨年度：21,470千円)

##### ③滝桜臨時駐車場・駐車台数

普通自動車 40,545台 (昨年度30,619台)  
大型バス 2,695台 (昨年度 2,904台)  
マイクロバス 220台 (昨年度 243台)  
自動二輪車 843台 (昨年度 566台)  
※臨時駐車場の料金収入額：28,328千円  
(昨年度：24,620千円)

##### ④観桜バス利用状況

4月11日～24日の14日間運行  
大人4,527人 小人68人 合計4,595人  
1日平均328人利用  
※今年度は平日の復路ルートをダム湖周辺を周遊するコースとして運行し評判は良かった。

##### ⑤対策結果

- ・4月に入ってから好天が続き、滝桜が4月10日に開花したため、予定より一日早い4月10日の仮オープンとなった。
- ・ピーク時対策を当初4月18日(土)、19日(日)としていたが、4月10日の開花に伴い、11日(土)、12日(日)もピーク対策(警備員配置、渋滞情報収集、柴原臨時駐車場の開放等)を実施した。
- ・滝桜のライトアップを4月17日、18日、19日の3日間実施し好評であった。
- ・4月18日(土)の夜間まで続いた渋滞は、高速料金割引が原因のひとつと考えられるが19日(日)の方が駐車台数が多いことから、天候とライトアップにより滞留時間が長くなった可能性が考えられる。ライトアップに向けた対策として夜間シャトルバスの運行、ライトアップ時間の延長、警備時間の延長、ライトアップ終了時間の周知・広報など次年度に向けた反省点としたい。



#### 2. 桜シーズンの街なか観光について

##### ①レンタサイクルの貸し出し

昨年度より、三春町観光協会が二次交通手段としてのレンタサイクル貸し出し事業をスタートさせたことにより、観光客の街中観光を推進させた。利用台数 4月～5月上旬：65台

##### ②ボランティアガイドによる観光案内

昨年7月1日に発足した三春町観光ボランティアガイドの会と三春さくらの会による、滝桜現地、三春駅、町役場脇での観光案内および土産・食事場所等の案内を行った。  
滝桜の観光客に対し「城下町三春」の歴史を伝えることによって、街なか観光に貢献した。

##### ③「もてなし食」開発

三春町食生活改善推進委員会メンバーによる「もてなし食」として、三春の食材を使った「おいなりさん(稲荷寿司)」と添え物の試作研究を重ね、3月17日に関係者を招き試食会を開催し販売に向けてアンケートによる意見を求めた。  
試食会での意見を基に、観光客への実験販売を観光客のピーク時(4/18, 19)に行い好評を得た。5月に実施された「第21回ふくしま緑の百景歩こう会」でも販売し評判が良かった。

#### 3. イベント

##### ①第21回ふくしま緑の百景歩こう会の実施

5月10日実施。参加者：約2,300人  
主催：福島県緑化推進委員会、福島民報社、三春町

#### 参加者からの意見・要望・質問

続いて質疑の時間となり、会場からはさまざまな質問・意見が出されました。役場側からは、町民の意見を参考にして次年度の観光に活かしたいとの回答がありました。

また、三春町異業種交流会から「2009年滝桜観光のまとめ」として賞賛・苦情・提案などをまとめた資料も提供されました。

#### 【賞賛】

- ・滝桜、八十内かもん桜等のライトアップが素晴らしい。
- ・ボランティアガイドさん、お食事提供の皆さん、現場の人が素晴らしい。その方たちの声を聞いてほしい。
- ・観光バスに1000円で乗る。パンフレットとさくらのシールそして協力金で1000円は高くない。乗り降り自由も便利。
- ・郷土料理が1人前400円で食べられた。野菜料理、三角いなり、お菓子など。三角揚げの由来も教えてもらった。
- ・「もてなし食」が良かった。



#### 【苦情】

- ・滝桜ライトアップの9時消灯は、次回へ課題を残した。
- ・桜に感動したお客様が協力金の申し出をしたら、隧道前の設置場所まで行くように言われた。
- ・滝桜のライトアップにはいろいろ問題があったのではないかと。
- ・役場駐車場にトイレがあるため、そのそばでお弁当の販売をしようと、見た目感じが悪い。
- ・協力金の募金箱周辺に係員が誰もいなかった。
- ・ライトアップが新聞・テレビで報道され、東京から友人が来た。時間までに入れず、夜桜が見れなかった。残念。地元の人たちとの取り決めで時間延長できないという話を聞いたが、地元の人には後でお詫びできるが、全国から来てくれた一度きりの観光客にはそれができない。
- ・町の中に食事をする場所が少ない。
- ・観光客を案内できるように街中をもっと綺麗にしておくべきではないか。
- ・桜の咲いていない時期や雨の日にはお城山のライト(提灯)はいらぬのではないかと。

#### 【提案】

- ・JTBの「滝桜サポーター」の仕事は町民でできるのではないかと。
- ・協力金をもっと効率的に集めることはできないのか。
- ・交通規制、シャトルバスを検討してもよいのではないかと。
- ・滝桜のライトアップはどこにも負けない。昼は花見山、夜は滝桜という観光コースはどうか。
- ・素晴らしさと苦情は紙一重。あらゆる事態を想定したシュミレーションを現場と指揮部隊でしてほしい。
- ・桜の花が咲いていなくても駐車料金がかかる。どこから無料にするか線引きは難しいと思うが何か手立てはないものか。駐車場の入口の手前数か所に開花情報が必要。
- ・町の通年観光に対するビジョンを聞きたい。
- ・三春町を「ウォーキングの町」として売り出してはどうか。
- ・中学校統合の後、桜中学校を有効利用して観光ゾーンにできないか。
- ・観光客がいちばん来る時期に磐州市を開催してはどうか。
- ・町に「公園課」を設置してはどうか。

当日、会場が一番多く出された意見は、三春の観光案内は町民自身がやるべきだということでした。町と観光協会と町民が一体となって観光客に対応していくことが大事だと感じました。

三春まちづくり協会では、来年のシーズンの前にもう一度「三春の観光」を考える懇談会を開催したいと考えています。町民みんなで、日本一の滝桜を中心とした「三春の観光」を考え、参加していくきっかけにいただければ幸いです。

# 『協働のまちづくりに向け新たな決意！』 —平成二十一年度三春まちづくり協会総会開催—

去る四月二十三日、三春まちづくり協会の定期総会が開催されました。総会には、鈴木町長も来賓として出席され祝辞を述べられました。幕田協会長を議長に、二十年度の事業報告及び収支決算報告に続いて、二十一年度の事業計画及び収支予算の審議が行われ、今後一年間のまちづくり活動計画を満場一致で決定しました。

主な事業項目と新役員、各部会委員などは次のとおりです。



- 1 クリーンアップ作戦  
城山公園整備計画への協賛
- 2 研修会の開催  
懇談会の開催
- 3 町民球技大会への助成  
自主防災会事業の助成

三春まちづくり協会役員	勝 寿茂子 幸弘弘夫 夫夫弘清茂	田津部 本上 越田 津葉 名津	幕大田 松村 村大武 大千川 大	内 昌 子
会長	勝 敬正 輝 英 英			
副会長				
監事				
委員長	長 長 長 長 長 長 長 長 長 長			
委員	大 中 八 幡 北 新 八 各 専			
各 部 会 長				

部会名	氏 名	推 薦 団 体	
生涯学習部会	◎橋本 俊宏 中町	◎村上 俊八 幡町	
	◎佐久間 善子 民生児童委員	◎宇野 恵子 大町	
	◎橋本 寛子 民生児童委員	◎村上 幸一 新町	
	◎柳沼 秀子 民生児童委員	◎菊田 久光 町消防団	
	◎高野 信広 三春小PTA	◎高田 功三 三春中PTA	
	◎佐々木 律子 中町	◎鈴木 功八 島台町	
	◎鈴木 喜代治 大町(区長)	◎吉田 清治 八幡町	
	◎先崎 豊由美子 北新町	◎降越 俊裕 八島台	
	◎吉田 本弘 町婦協	◎橋本 子昌 町商工	
	◎増子 敬子 荒町	◎田部 ツヤノ 民生児童委員	
福祉部会	◎久保 貞治 大町	◎佐久間 能生子 中町	
	◎佐久間 東子 八幡町	◎小林 昭子 新町	
	◎川上 矩男 八島台	◎鈴木 公統 老人クラブ	
	◎大室 彦彦 新町	◎田母野 照雄 八幡町(区長)	
	◎渡辺 照雄 荒町	◎佐久間 弘子 大町	
	◎関 勝子 中八幡町	◎吉田 勇夫 民生児童委員	
	◎阿部 トモ子 新町(区長)	◎吉田 征雄 八島台(区長)	
	◎大内 次男 八島台(区長)	◎佐久間 保一 八幡町	
	◎橋本 本信 大町	◎橋本 本信 義利中	
	◎武像 ヒサ子 民生児童委員	◎小根 芳雄 北新町	
地域部会	◎山本 正久 荒町	◎三瓶 正久 新町	
	◎永井 昭一 大町	◎湊山 勝夫 八幡町(区長)	
	◎庭藤 勝明 北八島台	◎佐藤 谷明 島台	
	◎大村 大		
	街並部会	◎橋本 本信 大町	◎橋本 本信 義利中
		◎武像 ヒサ子 民生児童委員	◎小根 芳雄 北新町
		◎山本 正久 荒町	◎三瓶 正久 新町
		◎永井 昭一 大町	◎湊山 勝夫 八幡町(区長)
		◎庭藤 勝明 北八島台	◎佐藤 谷明 島台
		◎大村 大	
広報部会		◎永井 昭一 大町	◎湊山 勝夫 八幡町(区長)
		◎庭藤 勝明 北八島台	◎佐藤 谷明 島台
		◎大村 大	

◎部会長 ○副部会長

## 部会事業

### 生涯学習部会

夢を持ち豊かな心が育つまちづくりをめざし①児童生徒の安全を守る活動②三春小学校のまほらっ子教室への支援③子育て支援活動を充実する。

### 環境部会

だれもが暮らしやすいまちづくりをめざし①環境問題に関する勉強会②空き家対策についての検討を実施する。

### 福祉部会

元気で健やかに暮らせるまちづくりをめざし①ふれあいの集い開催②敬老会への参加③地域ぐるみの健康

## 地域部会

みんなが築くつながりのあるまちづくりをめざし①散策路(不動山、紫雲寺)草刈・踏査②散策路案内標柱の設置場所調査、設置検討③中世の三春を中心とした遺跡めぐりを実施する。

## 街並部会

地域の特徴と資源を生かした活力あるまちづくりをめざし①石柱設置②第3回石柱・拓本ラリーの実施④お城山公園整備計画事業によるアジサイの植樹と管理(全体事業化)を実施する。

## 広報部会

地区住民への情報提供と意欲を高めるまちづくりをめざし①広報紙「三春わが街」定期発行(年四回)②増刊号・号外・チラシの発行③定例出前懇談会の開催④周知と実施概要の広報活動を実施する。(以上)

## 環境部会

三春町浄水場を訪ねて  
部会長 佐々木律子

六月十一日(木)広大な土地に濃緑の木々の中に位置する浄水場に出かけました。担当者から個々に丁寧な説明を受け、大滝根川の取水から浄水池に至るまで九ヶ所の工程を経て、私たちの生活水として供給されているのが分かりました。三春町一日の供給量は四千五百から五千リットルだそうです。

取水から浄水までの工程は、①まず川から取り入れた水を②沈砂池において、原水中に含まれる土や砂を自然に沈め、③これらを生



## 部会だより

### 福祉部会

グループホームを視察して  
部会長 田部 敬子

加速する長寿社会、その中で増加する認知症の方々が地域社会の中でどのような生活しているのか、その介護の実態を知りたいという事から、グループホームの視察研修を企画し、六月



## 編集後記

三月に移植したお城山のアジサイが無事に根付き、小さいながらも花をもちつようになった。このアジサイの植栽は、三春町が進める地域に根ざしたまちづくり「城山公園整備計画」の一環▼まちづくり協議会も協働のまちづくり事業として協賛し、各地区まちづくり協会が区域を分け合い、植付けや草刈などの手入れ作業を分担して行っている。三春まちづくり協会も梅雨を迎えた六月初旬に、はじめての草刈り作業を終えた▼地方分権の進展で地域づくりの意識にも拍車がかかり、全国の自治体が独自の地域性を作り出すため、知恵を出し合い様々な施策に取り組んでいる。方策の違いはあっても地域住民との協働が不可欠であると各自治体が共通して挙げている▼あれほどの数のアジサイが見事に咲きそろえば、いづれ「お城山公園」から「あじさい山公園」となって代わる時が来るかも知れない。それまで持続できる取り組みには、適切な歯止めと協働の力が必要になるに違いない。(湊)

「コミュニティだより」  
「三春わが街」第五十三号  
発行日 平成二十一年六月三十日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協議会  
廣 報 部 会  
三春町字大町一七八  
(六二)三九八八